

教育事業別報告書

| | |
|--|--|
| 事業名 | 2018日タイ青少年交流事業 |
| 趣旨 | 国際化が進展する中、青少年自らが国際社会の一員であることを自覚し、異なる文化や歴史に立脚する人々と共生していくため、タイ王国の青少年を日本に招き、地域の特性を生かした自然体験、生活・文化体験等の機会を提供する。また、日本に対する理解の増進を図るとともに、招いたタイの青少年との国際交流体験を通じて日本の青少年の国際的視野を醸成する。 |
| 期間 | 平成30年9月29日(土)～10月6日(土)7泊8日うち 9月29日(土)～10月3日(水)西郷村内宿泊 |
| 参加人員 | [タイ王国]日本語を学んでいる中・高校生16名 (男子4名、女子12名)引率者1名、通訳1名 |
| ① 事業の特色 | |
| <p>【ホームステイ】 自然の家域内の家族にホストを募り、計10家族がホームステイ先として応募。日本の文化や生活様式に感じながら1泊のホームステイを実施することができた。</p> <p>【西郷支援学校との交流】 村内の支援学校と学習交流を行った。日本文化の体験として、窯業と手工業の作業学習授業の参加。さらに、パラリンピック種目である「ボッチャ競技」の活動を実施しながら、一日の学校生活を体験することができた。</p> <p>【にしごう体験隊での芋掘り体験】 地元有志による村おこし団体に協力を要請し、農業体験を実施。9名の隊員の指導のもと芋掘りを行い、地場産業について体験することができた。</p> <p>【川谷中・西郷第二中との交流体験】 参加人員を2班に分け、西郷村内の2つの中学校と学習交流を行った。川谷中では、生徒と一緒に栄養士から箸の使い方を教わり、その後、文化祭で使用するピックアートの作成を共に実施した。西郷二中では、英語科の授業に参加し英会話を親しみ、その後、体育科の授業ではバレーボールで体を動かした。</p> | |
| ② 事業の成果と課題 | |
| <p><事業の成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○タイの子供たちと西郷村の子供たちや地域の人たちとのコミュニケーションがもて、お互いの国について紹介し、文化の交流を図ることができた。 ○タイの子供たちに西郷村での生活や伝統文化などを体験する機会を提供することで、日本への理解を深めてもらうことができた。 ○地元住民にホームステイをお願いし、ホストとの交流を深めることで、日本の文化への親しみをもたせ、別れの際には、家族同様に別れを惜しむ姿が見られた。それぞれのプログラムのねらいが達成できた。 ○アンケートでは「日本の文化を体験することができよかった」といった回答が多くあり、多くの参加者の満足を得ることができた。 <p><事業の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ●関係校へ協力要請は、教育長を通して行っていたが、連携校への直接の打診がスムーズにできなかった。前年度からの積極的な打診や交渉も必要であった。 ●ホームステイ受入れ先が困難な面があった。 ●参加者は、長時間の移動や気温の変化による体調不良を訴える者もいた。余裕のある、活動内容と十分な休息時間を確保することが必要であった。 <p style="text-align: right;">(企画指導専門職 矢内 淳仁)</p> | |

